

資料に親しむ会 令和7年度第6回

「旅と名所図会（大坂編）」

京都府立京都学・歴彩館職員による資料に親しむ会「旅と名所図会（大坂編）」を、下記のとおり開催しました。

記

- 日 時 令和8年2月18日（水）午後2時30分～3時30分
- 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール
- 参加者数 83名
- 内 容 江戸時代後期に出版された『摂津名所図会』から、名所図会に描かれた大坂の名所が現在どうなっているか比較するなどして、楽しみ方の広がりを紹介した。また、現代の地図と照らし合わせ、そこからわかる「旅」の楽しみ方についても紹介した。
- 参加いただいた方々のご意見 （参加者アンケートより）
 - ・大阪にも地域を指す名称やそれぞれの機能があるというのがとても面白かったです。摂津名所図会を手にも大坂を歩いてみたくなりました。
 - ・今では説明をきかないと解らない大阪の実像がわかりました。
 - ・江戸時代の名所として、寺社に限らず、庶民の生活場所もあったことが分かり勉強になりました。地図や写真が多く使われ、現代との関連も分かり興味を持ってました。

（講座の様子）

